

私の好きな場所

My favorite Place



多賀山公園のアコウ

数多くの樹木や植物が生い茂る多賀山公園の「主」であるかのように、どっしり根をは

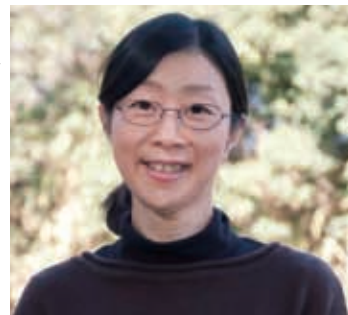
に通いましたが、やっぱり植物の勉強がしたい、九州に行ってみたくての思いが強く、鹿児島大学に入学しました。

師をするようになりました。幼稚園児から年配の方まで、楽しみながら自然に触れることを通じて、植物のことを学び、より身近に知ってもらいたいという一心でした。アコウを見ると、自然教育の大切さへの思いが

環境カウンセラー、森林インストラクター、樹木医

おかだ みずき
岡田 水城さん

昭和42年香川県生まれ。鹿児島大学理学部生物学科を卒業後、(財)県環境技術協会で植物調査を担当、出産を機に退職。子育てをしながら、子どもたちに郷土の自然の素晴らしさを伝えたいと、環境カウンセラーと森林インストラクターの資格を取得。平成20年には県内唯一の女性樹木医となる。現在、鹿児島大学医学部保健学科に在籍。



南国・鹿児島らしい樹木「アコウ」 すばらしい自然を子どもたちに伝えたい

る、「アコウ」。樹木医として、市の保存樹の定期診断を行うために訪れる場所のひとつです。

幹周りが5メートルを超え、樹高は15.5メートル。樹齢は約180年と言われています。この木に触れて対話をする、ゆったり心が安らぎ、自然のパワーをもらえる気がします。

わたしは、香川県で19歳まで過ごしました。自然がいっぱい田んぼの水面に日の出が映り、夕日が沈んでいく様子が見られるところです。真正正銘の田舎育ちで、学校が終わるとランドセルを置きに家に帰り、友達と遊びに出かける、活発な子どもでした。そのころの遊び場は、山や川。男の子も女の子も関係なく、川でザリガニやカエルを捕ったり、山に基地を作ったりして遊んでいましたね。豊かな自然環境が近くにあったおかげで、植物の道に進むことになったのかもしれない。

地元の高校に通い、生物の先生との運命的な出会いがありました。その先生はよく大学時代に過ごした九州の話をしてくれました。四国で生まれ育ったわたしは九州の自然の話はおとぎ話のように思えました。今回取り上げた多賀山公園の「アコウ」も香川では見ることのできない、南国ならではの樹木なんですよ。

高校卒業後は、両親に勧められ看護学校

鹿児島島の自然に感動

入試を受けるために初めて鹿児島へ来たとき、「クルメツツジ」が目に見え込んできました。これこそ鹿児島島の自然から生まれたツツジ。この土地で、いろいろな植物に触れ、学び、知識を増やしたいという思いが沸き上がりました。

大学生活は、鹿児島島の温暖な気候や、緑豊かな植物に魅了される日々。

大学の実習では、植物採集にさまざまな場所へ行きました。とくに、錫山の遊歩道を歩きながらの採集は、歩きやすさもあって印象に残っていますね。また、離島へも植物採集に行きましたよ。アルバイトをして貯めたお金で、沖縄や奄美大島、トカラ列島へ行き大きなビニール袋を片手に、植物採集をするわたしは地元の子どもたちに「草のお姉さん」と呼ばれて、仲良くなるように。植物の標本を作るたびに、地域によって種類や育ち方が違うことがわかり、奥の深い植物の世界にどんどんのめり込んでいきました。



奄美大島の和村にて

卒業後、県環境技術協会に植物調査担当として就職し、県民向けの環境学習会の講

強くなり、この道に進んでよかったですと感じます。

その後、出産を機に退職しましたが、子育てをしながら、環境カウンセラー、森林インストラクター、樹木医の免許を取得しました。

草のおばあちゃんになりたい

現在、鹿児島大学医学部で学んでいます。「命の尊さを子どもたちに感じてほしい」とことと、母親として二度は思い立った看護の道を最後までやりとげる姿を子どもたちに見せたい」という思いで学んでいます。両立は大変ですが、家族の支えもあって、無事に3年目の春を迎えました。一人で考え事をしたいときは、このアコウの前でぼーっと癒やされに来るんですよ。人間は自然なしでは生きていけないから、自然を学び調和することが必要だと思っんです。植物の小さい大きいは関係なく、大切に接すると、自然と心を通わせることができます。鹿児島はこんなに近くにすばらしい自然があるので、わたしが人と自然をつなぐお手伝いができたらと思います。

将来は好きな自然のことをしゃべれる「草のおばあちゃん」といったところでしょうか。子どもたちがふるさとの植物、昆虫に触れ、身近に素晴らしい自然があることを伝えていければいいですね。